

西村佳恵

よろこび

ちいさな白い窓から
砂粒がこぼれる

すこし吹いただけの
風に踊る
乾いた音

こんなに
静かで
賑やかな場所

ここに満ちている時間は
私の指先と
あなたの指先
たしかに
両方
さわっている

本当の言葉より
砂粒の気配が
いつまでも肌の近く
残っている